

**センシング技術応用研究会第221回研究例会・（一社）次世代センサ協議会
合同研究例会『脳科学とA Iの融合』-人の脳内情報処理に学ぶ次世代人工知能**

ご案内

今回の研究会はセンシング技術応用研究会と共催で開催します。この研究会では「『脳科学とAIの融合』-人の脳内情報処理に学ぶ次世代人工知能-」をテーマにして最先端でご活躍されておられる先生方に御講演いただきます。

参加をご希望の方は11月7日(月)までに事務局までお申し込みください。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

研究例会参加費： 会員無料、非会員 ¥10,000

記

日時： 2022年11月14日(月)13:15～16:45

場所： オンライン開催(参加者には事前にWeb招待メールをお送りいたします。

また、資料も事前にURLからダウンロードして頂きます。)

※なお、配信の録画および資料の転送は固くお断りいたします。

主催センシング技術応用研究会、(一社)次世代センサ協議会

連絡先・申込先

○(一社)次世代センサ協議会事務局TEL. 03-6910-0889 FAX. 03-6910-0899

E-mail : office@jisedaisensor.orgURL: <https://www.jisedaisensor.org/>

〒101-0051東京都千代田区神田神保町3丁目2-14YNビル6F

※HPの申込みフォームに記入して、お申し込みください。

<<プログラム>>

開会挨拶

13:15-13:20 センシング技術応用研究会会長 筒井博司氏

<講演>

1. 13:20~14:20 (質疑応答を含む)

「脳のように学習する人工ニューラルネットワーク」

近畿大学情報学部情報学科准教授 篠崎隆志氏

近年のAIによる革新の多くは脳を模した人工ニューラルネットワークによって実現されています。しかし、その学習の仕組みは我々の脳とは大きく異なっています。本講演ではAIにおいて脳により近い学習を行う手法について紹介します。

<講演>

2. 14:30~15:30 (質疑応答を含む)

「人工ニューラルネットワークによる人工内耳が伝達するピッチ情報の推定」

NTT人間情報研究所思考処理研究プロジェクト 芦原孝典氏

難聴者であっても人工内耳を装用することで、音声知覚は相当レベルの回復が見られますが、ピッチ知覚は依然として苦手とされています。そこで、人工内耳模擬信号そのものを入力とする人工ニューラルネットワークを用い、直接基本周波数を推定することで、信号に含まれる基本周波数情報について評価しました。

<講演>

3. 15:40~16:40 (質疑応答を含む)

「音認識のための人工ニューラルネットワークにおける両耳間時間差チューニング」

NTTコミュニケーション科学基礎研究所人間情報研究部 上村卓也氏

音が左右の耳に到達するまでの時間の差を、両耳間時間差と言います。左右の耳の位置で記録された音を認識するように人工ニューラルネットワーク(NN)を訓練し、NNの内部状態が刺激の両耳間時間差によってどのように影響を受けるのかを分析しました。自然な環境で起こりうる両耳間時間差の効果的な表現を獲得していました。

閉会挨拶

16:40~16:45 (一社)次世代センサ協議会会長 小林彬氏